

説明文の 要旨をえらぼう

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 休みの日の朝を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

休みの日は、つい昼近くまでねてしまう。そうした週は、月曜の朝がよかった。日曜の夜に早くふとんに入っても、なかなか寝つけない。そこで、休みの日も学校のある日と同じ時こくに起きるようにした。すると、月曜の朝の目覚めが楽になった。

- 1 休みの日も同じ時こくに起きると、月曜の朝が楽になる。
- 2 休みの日の朝に日の光をよくあびると、月曜の朝が楽になる。
- 3 日曜の夜にふだんより早くねると、月曜の朝が楽になる。
- 4 休みの日にたっぷりねて体を休めると、月曜の朝が楽になる。

2 日記を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

毎日、日記を書こうと決めても、ページをうめようとする、三日ほどで続かなくなる。そこで、一日一行だけ書くことにした。半年たって読み返すと、短い文からでも、その日のことがありありと思い出せた。続けることは、書く量を小さくすることだったのだ。

- 1 日記を続けるには、まず書くとき強く決めることが大切だ。
- 2 日記を続けるには、一日に書く量を少なくするのがよい。
- 3 日記を続けるには、毎日書く時こくを決めておくのがよい。
- 4 日記を続けるには、書いた日にしるしをつけていくのがよい。

3 かむことを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

ごはんを口に入れたら、すぐに飲みこまずに、三十回くらいかみ続けてみよう。はじめは味がうすいの、だんだんあまく感じてくる。これは、だえきが、ごはんのでんぷんを、あまみのあるものに変えるからだ。かむことは、味を生み出すはたらきもしているのである。

- 1 よくかむと、あごがきたえられて歯ならびがよくなる。
- 2 よくかむと、ごはんの量が少なくても満ぞくできる。
- 3 よくかむと、ごはんのあまみが強く感じられる。
- 4 よくかむと、だえきがふえて口の中がきれいになる。

4 あいさつを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

あいさつは元気な声で、とよく言われる。けれど、大きな声で言っても、名前をよんでも、相手が下を向いていると、気づかれずに通りすぎてしまう。相手と目が合ったところを言うと、小さな声でもきちんと返ってくる。あいさつは、言う時で伝わり方が変わるのだ。

- 1 あいさつは、相手の名前をつけて言うと、相手に伝わる。
- 2 あいさつは、自分から先に言うと、相手に伝わる。
- 3 あいさつは、大きな元気な声で言うと、相手に伝わる。
- 4 あいさつは、目が合ったときに言うと、相手に伝わる。

説明文の 要旨をえらぼう【こたえ】

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：1

昼近くまでねると月曜がつらく、日曜に早くふとんに入っても『なかなかねつけない』。同じ時こくに起きると『月曜の朝の目覚めが楽になった』とあります。

2 答え：2

『書こうと決めても…続かなくなる』。一行にすると続き、まとめは『書く量を小さくすること』です。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

3 答え：3

『だんだんあまく感じてくる』『かむことは、味を生み出すはたらきもしている』とあります。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

4 答え：4

大きな声でも、名前をよんでも『気づかれずに通りすぎてしまう』。『目が合ったところで言うと…きちんと返ってくる』とあります。

読み取るコツ

「しかし」「けれど」のあとや、終わりの文から、言いたいことをつかみます。